



第74期
中間報告書

平成24年1月1日から
平成24年6月30日まで

キヤノン電子株式会社

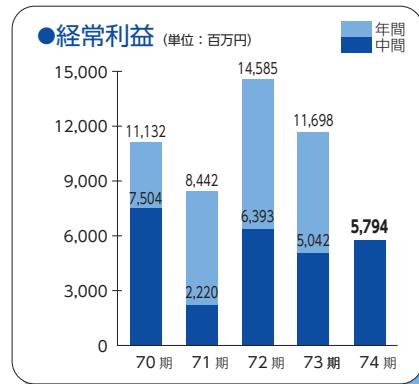
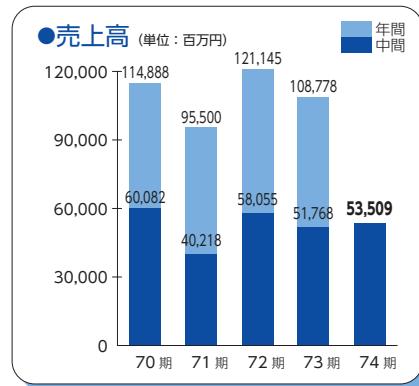
第74期中間報告書

平成24年1月1日から平成24年6月30日まで

CONTENTS

財務ハイライト（連結）	1
ごあいさつ	2
事業の部門別状況	3
連結財務諸表	5
会社の概況	6
株式のご案内	裏表紙

財務ハイライト（連結）



経営方針

企業品質向上を目指して
社会人として思いやりを持った人格の形成
世界から尊敬と信頼を受ける企業と人

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当中間期（平成24年1月1日から平成24年6月30日まで）の報告にあたりまして、ごあいさつ申し上げます。

当中間期の世界経済は、全体としては緩やかな回復を続けていますが、欧州重債務国の財政不安の高まりや米国の財政緊縮等により減速感が広がりました。国内経済は、依然として厳しい状況にあるものの、復興需要等を背景に緩やかな回復基調にあります。為替は、前年同期に比べ米ドル、ユーロともに円高で推移しました。

このような中で当社グループは、シャッターユニット、ドキュメントスキャナー等の既存事業に対する積極的な受注活動を展開するとともに、新たな価値を創造すべく環境へ配慮した業務用生ゴミ処理機の新製品「Land care 16 II」の拡販活動を行いました。また、世界トップレベルの高収益企業を目指し、全社を挙げた生産性向上活動、3R（リデュース・リユース・リサイクル）環境活動を強力に推し進めてまいりました。さらに経営全般にわたるムダ排除に徹底的に取り組み、利益体質の維持向上に注力してまいりました。

これらの結果、当中間期の連結売上高は535億9百万円（前年同期比3.4%増）、連結経常利益は57億94百万円（同14.9%増）、連結純利益は35億92百万円

（同24.1%増）となりました。

中間配当金につきましては、株主のみなさまの日頃のご支援にお応えするために、1株につき30円とし、お支払い開始日を8月27日とさせていただきます。

下期はより不透明感が高まっていくことが予想されますが、高機能、高品質、低コストな商品・サービスを展開し、新たなビジネスを創出してまいります。また、強固な企業体質を実現するため、全社員の力を結集し徹底的なムダ排除、生産性の向上、売上の拡大に取り組んでいく所存です。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成24年8月

代表取締役社長

酒巻 久



事業の部門別状況

コンポーネント部門

デジタルカメラ市場は、震災影響により昨年上期は大きく落ち込んだため、前年同期比では大きな伸びとなりました。特に一眼レフカメラ市場は拡大を続けており、交換レンズの需要も増加しました。

当社は、セットメーカーのニーズに的確に対応し、積極的な受注活動を展開してきました。この結果、一眼レフカメラ用では、シャッターユニット、交換レンズ用絞りユニット、防振ユニットともに売上を伸ばしました。コンパクトデジタルカメラ用シャッターユニットは、スマートフォンの台頭によりコンパクトデジタルカメラ市場の伸びが止まり、単価下落も激しく、厳しい状況が続いています。ムービー用絞りユニットは、ムービー市場の縮小および価格下落により厳しい状況で推移しました。

レーザープリンターおよびデジタル複合機用のレーザーสキャナーユニット組立においては、生産性の向上、構成部品の内製化等、生産体制強化を積極的に推し進めて、原価低減に取り組みました。事務機用精密加工部品生産においても、生産性の向上に積極的に取り組みました。

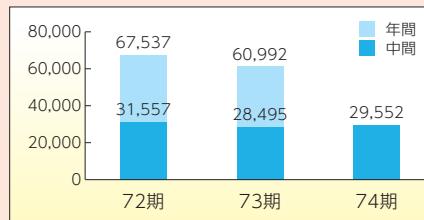
これらの結果、当部門の連結売上高は295億52百万円（前年同期比3.7%増）となりました。



デジタル一眼レフカメラ用
シャッターユニット

■売上高

(単位：百万円)



電子情報機器およびその他の部門

ドキュメントスキャナー市場は、文書の電子化需要により拡大傾向にあり、スキャン業務の分散化等により低価格・コンパクトタイプの需要が増加しています。

このような中で、ドキュメントスキャナーimageFORMULAシリーズは、

イメージフォーミュラ「DR-C130」を4月に発売し、省スペースの高速スキャナー「DR-C125」、超小型ポータブルタイプの「DR-P215」とともに積極的な拡販活動を展開し、コンパクトタイプを中心に販売数量を伸ばしました。地域別では、北米市場ではチェックスキャナー（小切手読取用スキャナー）の需要が回復し売上を伸ばしました。中国では金融機関向けの大型ロット案件の獲得により売上を伸ばしました。



imageFORMULA DR-C130

■売上高

(単位：百万円)



ハンディターミナル市場は、スマートフォンやタブレット端末の使用の増加により、新たなビジネスチャンスが広がりつつあります。5月末に、大画面モバイル情報端末「プレアDX-360」を発表し、また、多彩なビジネスニーズに対応した最小、最軽量の「プレアAT-100」等のラインアップによる積極的な拡販活動を展開しました。また、検針向け端末の貢献により売上を伸ばしました。



プレアDX-360

レーザープリンター組立事業は、受注確保に向けて、効率的な部品調達、生産体制の拡充に取り組むとともに、品質強化に努めてまいりました。

情報関連事業は、情報システム投資が伸び悩む中、厳しい状況で推移しています。当社グループでは、業務改革サービス（ログマネジメント）、情報セキュリティ対策サービス（SML）、名刺管理サービス（アルテマブルー）、顧客情報管理サービス（CRM）等の受注活動を積極的に展開してきました。また、システム開発・保守・運用案件の獲得に努めるとともに、銀行向け情報システム（entrance Banking）等のパッケージソフトウェア販売に注力してきました。



Land care 16 II

環境機器事業は、小型電動射出成形機、小型三次元加工機を主力商品として代理店の開拓等の販路拡大に取り組むとともに、業務用生ゴミ処理機「Land care 16 II」の積極的な拡販活動を展開いたしました。

精密機器事業は、自動化設備の売上が前年並みとなりました。

これらの結果、当部門の連結売上高は239億56百万円（前年同期比2.9%増）となりました。



連結財務諸表

中間連結貸借対照表(要旨) (平成24年6月30日現在)

単位：百万円

科 目	当中間期	前期 (ご参考)
(資 産 の 部)		
流動資産	[54,690]	[52,740]
固定資産	[38,216]	[37,844]
有形固定資産	33,150	32,384
無形固定資産	1,150	1,340
投資その他の資産	3,915	4,118
資産合計	92,907	90,585
(負 債 の 部)		
流動負債	[22,822]	[22,742]
固定負債	[2,859]	[2,958]
負債合計	25,681	25,700
(純 資 産 の 部)		
株主資本	[67,945]	[65,618]
資本金	4,969	4,969
資本剰余金	9,595	9,595
利益剰余金	53,452	51,125
自己株式	△ 70	△ 71
その他の包括利益累計額	[△ 999]	[△ 1,016]
その他有価証券評価差額金	△ 124	△ 96
為替換算調整勘定	△ 874	△ 919
新株予約権	[237]	[244]
少数株主持分	[41]	[37]
純資産合計	67,225	64,884
負債及び純資産合計	92,907	90,585

中間連結損益計算書(要旨) (平成24年1月1日から平成24年6月30日まで)

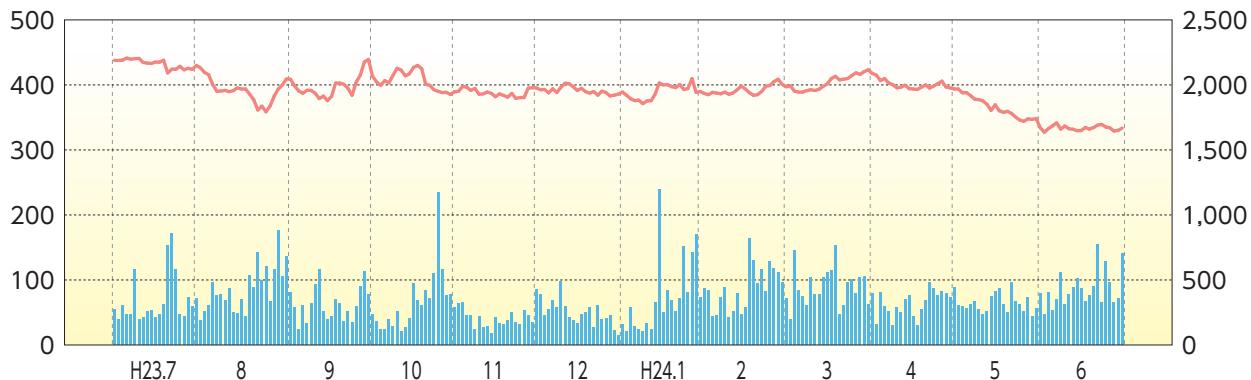
単位：百万円

科 目	当中間期	前年同期 (ご参考)
売上高	53,509	51,768
売上原価	42,972	41,622
売上総利益	10,536	10,146
販売費及び一般管理費	5,136	5,354
営業利益	5,400	4,792
営業外収益	397	256
営業外費用	3	6
経常利益	5,794	5,042
特別利益	42	65
特別損失	201	324
税金等調整前中間純利益	5,635	4,784
法人税、住民税及び事業税	2,079	1,940
法人税等調整額	△ 40	△ 51
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4	△ 0
中間純利益	3,592	2,895

株価 (終値) および出来高の推移 (平成23年7月～平成24年6月)

■ 出来高 (千株)

— 株価 (円)



会社の概況 (平成24年6月30日現在)

■ 主要な事業内容

部 門	主 要 製 品
コンポーネント部門	シャッターユニット、絞りユニット、ステッピングモーター、磁気ヘッド、磁気センサー、レーザースキャナーユニット、プリント基板実装
電子情報機器およびその他の部門	ドキュメントスキャナー、マイクロフィルム機器、ハンディターミナル、レーザープリンター、業務分析ソフトウェア、情報セキュリティソフトウェア、顧客情報管理システム、名刺管理サービス、システム開発、FA機器、環境関連機器

■ 使用人の状況

使用人数 (連結)	前期末比増減	使用人数 (単独)	前期末比増減
6,249名	+184名	1,825名	+15名

■ 発行可能株式総数 60,000,000株

■ 発行済株式総数 42,206,540株

■ 株主数 20,878名

■ 大株主 (上位10名)

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
キヤノン株式会社	22,433千株	53.2%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,926	6.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,409	3.3
第一生命保険株式会社	414	1.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	240	0.6
株式会社みずほコーポレート銀行	234	0.6
キヤノン電子従業員持株会	232	0.6
みずほ信託銀行株式会社	201	0.5
EMILIA イーエフジー ノン コラテラル ノン リーティ アカウト	198	0.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口1)	142	0.3

注. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式 (33千株) を控除して算出しております。

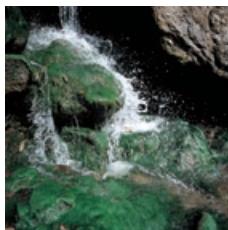
■ 取締役および監査役

地 位	氏 名
代表取締役社長	酒 巻 久
取締役副社長	鈴 木 善 昭
専務取締役	橋 元 健
常務取締役	江 原 孝 志
常務取締役	大 谷 一 夫
常務取締役	石 塚 巧
常務取締役	後 藤 良 秋
常務取締役	川 名 達 也
常務取締役	杉 山 一 英
取 締 役	黒 沢 明
取 締 役	常 藤 恭 司
取 締 役	厚 木 孝 夫
取 締 役	内 山 毅
取 締 役	黒 澤 明
取 締 役	新 井 忠
取 締 役	周 耀 民
常勤監査役	神 邊 純一郎
常勤監査役	渋谷 潤
監 査 役	恩 田 俊 二
監 査 役	渡 辺 和 紀

■ 会計監査人 新日本有限責任監査法人

株式のご案内

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
上記基準日	毎年12月31日
中間配当基準日	毎年6月30日
期末配当基準日	毎年12月31日
株主名簿管理人 および 特別口座 口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
株式事務のお問合せ先	住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金の振込指定等のお手続きは、株主様が口座を開設されている証券会社等にお問合せください。 未払い配当金のお支払い手続き、または特別口座に記録された株式に関するお手続きは、下記みずほ信託銀行にお問合せください。 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
単元株式数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京証券取引所市場第1部
証券コード	7739



表紙写真

撮影 山岳写真家 新井靖雄氏 (秩父市在住)

昭和21年埼玉県秩父市生まれ

環境省自然保護指導員

奥秩父をテーマにした山岳写真の撮影を続けている

山岳写真集「奥秩父の四季」、

新井靖雄写真集「奥秩父」を出版

Canon キヤノン電子株式会社

本 社

〒369-1892 埼玉県秩父市下影森1248番地
電話 0494-23-3111

東京本社

〒105-0011 東京都港区芝公園三丁目5番10号
電話 03-6910-4111

インターネットホームページ

<http://www.canon-elec.co.jp>